

**令和2年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 保健医療推進 室 健康政策 課

901

1. 基本情報

施設名	阪神北広域こども急病センター		
施設の設置目的	休日及び夜間において、伊丹市、宝塚市、川西市及び猪名川町の小児の患者に対して応急の診療を行う。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 健康で安心して暮らせる地域保健・医療 主要施策： 安心できる地域の医療サービス		
指定管理者の名称	公益財団法人 阪神北広域救急医療財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池 2-10		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	年間受診割合 (単位： %)	
	指標の意味	こども急病センター診療時間の同センター及び3市1町の市町域内の公立医療機関(小児科)の全受診者(一次医療)に占める同センターの受診割合	
	今年度の目標値	90	今年度の実績値 87

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2(上期)	R2(通期)
	受診者数(人)	-	25,573	25,648	24,397	24,718	3,141	6,607
電話相談件数(件)	-	14,727	14,817	13,515	14,513	4,108	8,376	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	3ヵ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	345,250	351,908	86,792	261,317	
	その他	20,772	23,246	176,413	73,477	
	指定管理委託料	63,791	63,166	123,326	83,428	
	①合計	429,813	438,320	386,531	418,221	
支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	0	0	0	0
	運営	人件費	318,740	323,760	293,100	311,867
		事業等経費	0	0	0	0
		その他	111,073	114,560	93,431	106,355
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	429,813	438,320	386,531	418,221		
純収支(①-②)		0	0	0	0	

		H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※	市の収入	101,711	95,441	122,080	132,343	171,600	230,747
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
<単位:千円>	市の支出	160,780	111,014	144,342	156,995	189,963	286,047
	(内、指定管理委託料)	106,754	100,548	115,708	125,597	137,148	123,326
	実質経費(歳出-歳入)	59,069	15,573	22,262	24,652	18,363	55,300

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	365日の清掃に加え、年4回の定期清掃により、常に清潔を保っている。また、感染対策の一環として看護師を中心に空いた時間での消毒清掃を適宜実施。備品台帳は毎年更新し市に提出している。古着等を回収しウエスとして再利用するなど環境にも配慮している。経年劣化に伴う高圧ケーブル交換工事を市と協議の上、行った。	A	協定書・仕様書に基づいた適切な維持管理が行われている。また、館内の衛生面・安全面に常に配慮し、適宜消毒清掃を実施、定期的に施設の点検・確認を行うことで、安全確保に努めている。備品等も台帳整備により適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		A	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	部長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	センター長をはじめ、休日夜間の診療に支障がないよう、権限を持った職員を適宜配置している。職員研修は0JTを中心に、今年度は遠隔での研修にも参加するなど資質向上に取り組んでいる。	A	施設運営に支障が出ないように必要な人員が配置されている。研修等により職員の資質向上も図られている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	B		
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡簿を各部署に周知。消防法に基づき8月と2月に消防訓練を実施した。	B	消防訓練の実施、連絡体制を作成し、日頃から緊急時に備えている。
		避難訓練を実施しているか。	B	B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	いつでも受診できる施設であることがサービス向上につながるため、医療スタッフの安定確保に取り組んでいる。苦情・トラブルに対しては迅速に対応し、職員間での情報共有も進め、再発防止に取り組んでいる。	A	利用者からの意見を積極的に聴き、より良い事業展開に繋げるようサービスの向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通りに実施。看護師ミニ講座やニュースレターなどを通じて、適切な施設利用を促すよう取り組んだ。今年度は新型コロナウイルスの影響により患者数が激減した。	A	計画的・効率的に事業展開できている。また、不測の事態にも臨機応変に対応している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類等は文書分類表に基づき適切に保管。個人情報の取扱いには十分配慮している。ホームページの情報は適宜更新している。年4回のニュースレターなどを通して情報提供は充実している。	B	個人情報の取り扱い、申請書類等を適切に管理している。情報公開や広報活動にも努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	患者数の減少により収入が大幅減となる中、経費節減に努めるとともに、助成金の申請や借入により資金繰りの安定を図った。会計士による会計監査を受け、適切な経理処理を行っている。	B	経費節減に努め、助成金等の活用により財務基盤の安定を図り、地域医療を確保している。会計士による監査を受け、適正に処理している。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	適切な運営管理が行われている。館内での感染拡大防止としての対策や、清潔な環境を保つ努力が図られている。利用者アンケートの結果からも、医療スタッフの診察や電話での対応が丁寧であり概ね好評な意見を受けているため、今後も施設全体の医療技術としての資質向上に期待する。
総合評価	A

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年3月8日～令和3年3月22日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	薬をもう少し多めに出してもらえると助かる。	阪神北広域こども急病センターは休日夜間の心身急診療所であるため、翌日かかりつけ医を受診していただくことを前提としています。かかりつけ医を受診するまでの間に必要な分量の投薬となり、連休中などは複数日分の薬を処方しています。
回答者数		
294		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置